

令和8年度 第3学年経営案

【在籍数】男子 56 名、女子 32 名、計 88 名

【学年主任】 堀江 理枝

《学年の実態》

配慮が必要な生徒が多い学年ではあるが、他者を思いやる行動が見られるようになってきた。また、認められることを励みにして頑張る生徒が増えている。元気でエネルギーにあふれた、パワーある学年である。

1. 学年目標

「自律と自立」

- 自分の未来を自分で選ぶ力をつけよう
- 仲間ともに高め合い、責任ある行動をとろう
- 学びの積み重ねを、確かな成長へとつなげよう

2. 学年経営方針

(1) 学力向上

・授業や錦中コンテスト等の学校での学習と、AI型学習アプリを活用した家庭での学習につながりをもたせ、自ら学習する姿勢を確立し、学力の向上を図る。

・こまめな手帳の活用を声掛けし、自ら時間の管理や計画的に学習を進める力を身に付けさせる。

・ICTを活用し、協働的な学びを実践し、思考力・判断力・表現力を育成する。

(2) 豊かな人間性の育成

・学校行事・学年行事を通して、自己肯定感と相手のよさを認め、寄り添う「共感力」を育てる。

・規範意識の徹底と、けじめのある生活態度を身に付けさせる。

・学年教員全員の指導により、思いやりのある、自主性をもった生徒を育成する。

・「Inspirehigh」を活用し、答えのない問いを考える「探究的な学習」に取り組むことで、生徒の好奇心、創造性を引き出す学びを推進し、「想像力」を高める。

(3) 家庭との連携強化とともに地域や関係諸機関との積極的連携

・家庭との連絡を密に取り、信頼関係を構築していく中で学校の指導方針・指導内容に対し理解を得て、家庭と学校が同じ歩調で指導を行えるようにする。

・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、子育て支援センター等の外部機関との連携を通して、相互理解を図る。

3. 指導の重点

(1) 複数担任制を生かし、担任間の情報交換、共通理解を密に取りながら、生徒一人一人のよさを認め合い、寄り添った指導にあたる。

(2) 錦中コンテストをきっかけに学習意欲を高め、基礎学力の向上を図る。

(3) 総合的な学習の時間では、生徒が自主的に課題を見つけ出し、学んだり考えたり判断する「探究活動」を行うことで、課題解決のための資質や能力を育成する。

(4) 自己をよく理解し、将来の進路についての関心を高め、進んで自己の進路を切り拓く生徒を育成する。

(5) i-checkを通して学級集団、個の実態を把握し、学年経営・学級経営の充実を図る。

4. 経営方針の具体策

(1) 学力向上

・真剣な授業態度の確立と家庭学習の習慣化で、基礎学力の定着を図る。

・最後まできちんとやり通させる粘り強い指導にあたることで、学習への取組の重要性を再認識させる。

・タブレット端末を活用し、自らの考えを表現する活動を充実させる。

(2) 豊かな人間性の育成

・生活指導は学年教員全体であたり、いじめは絶対に許さないという強い姿勢を生徒に意識させる。

・行事・ボランティア活動に積極的に取り組ませ、生徒の自主性・自治的能力を高めることでリーダーを育成する。

・週末会議を通して席替えを行ったり、班での活動を重視したりすることで、リーダーの育成を図る。

(3) 家庭との連携強化とともに地域や関係諸機関との積極的連携

・学年だよりを月に2回は発行して生徒の活躍を伝えとともに、啓発活動を行う。

・職場体験や錦中ハローワーク等の進路学習を通じて、自ら考え、自らの手で進路を切り開く指導を行い、家庭にも協力を要請する。

